

20南建第119号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

高知県南国市長
橋詰 壽人



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった、標記
意見・提案について別紙の通り提出します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県 南国市

1) 都会の議論と地方の議論は相反しており、道路不要論は論外であります。

道路特定財源は受益者負担という合理的な制度趣旨に則した道路整備のための財源であり、一般財源化は基本的に反対です。

都会(東京)では地方の道路の不要論が展開されていますが、それは地方の実情を知らなさ過ぎます。地方の市町村の道路整備率はかなり遅れています。とりわけ本市ではまだまだ道路の改良舗装整備率が全国平均の55%に比べて43%と遅れています。この要因は都市部と比べ、国の臨時交付金を頂くものの、市の財政が脆弱で真に必要な道路整備に思い切った予算が組めないところにあります。

目的を持った道路特定財源はその目的に用途するべきで、この一般財源化は燃料税、自動車の取得税、重量税など本則税率の約 2 倍の税率で受益者負担をしている道路利用者にとって、到底納得できるものではありません。

2) 特定財源制度を維持し、財源分配方式を見直すべきであります。即ち国の特定財源が余るようであれば、現在287億円の揮発油税の1/2を道路整備の遅れている地方に分配して欲しいのであります。(現在は全額国の収入となっている) もし一般財源化するのであれば、暫定税率を一度廃止し、改めて道路財源確保のため特定財源として、必要があれば本則税率を改正するべきであると考えます。

なぜなら地方では、防災対策、通勤・通学、救急医療などの面においても、依然として道路整備が必要であり、また、過去に整備した道路に関する公債費・維持管理費の増大や老朽化した橋梁などさらに財源を要する状況です。

そこで、地方が真に必要な道路整備が滞ることなく着実に進むよう、新しい道路特定財源を確保し、地域の生活に密着した道路整備が安定的に実施されるよう平成21年度以降も地方道路整備交付金制度を拡充・充実して下さるよう要望します。

3) 道路の中期計画期間が5年では短すぎます。

市町村道においては、早くても路線決定から測量設計、用地買収まで3～4年かかり、5年で1路線くらいしかできません。用地買収が難航すれば5年では1路線も出来ません。中期計画は1次計画から段階的に10次計画くらいが必要であると考えます。

○現状

本市の道路網は、四国横断自動車道南国 IC から市の中央を南北に縦貫する国道32号、それに接続して東西に国道55号、香美市を通過して徳島まで国道195号を中心に、県道が16路線、市道が973路線によって構成されており、国道32号、55号、195号及び主要地方道県道南国インター線他5路線が主要な幹線道路となっています。本市ではこれまで、関係機関と連携しながら道路網の整備を計画的に進めてきましたが、交通量の増加や車両の大型化、そして高齢化が進む中で、渋滞、道路の破損などが慢性化しており、より一層安全で便利な道路網・道路環境の整備が求められています。

○課題

広域交流基盤の強化のため、整備が進められている四国横断自動車道へのアクセスの一層の向上、また四国8の字ルート形成の東部自動車道(国道55号高知南国道路)の早期完成、中心市街地の拠点機能の強化を見据えた道路網の整備が課題となっているほか、高齢化に配慮したバリアフリー化など、環境・景観に配慮したうるおいある道づくりが課題となっています。
忘れてならないのが30年以内に50～60%の確率で起きると言われている南海、東南海地震対策の道路整備であります。

②-2 地域の目指すべき将来像

高知県 南国市

(1) 高速道路の整備促進

広域基盤の強化を図るため、関係自治体との連携のもと、8 の字ルート東部自動車道の早期完成と関連するアクセス道路の整備を関係機関に働きかけていきます。

(2) 国道・県道の整備促進

国道195号のバイパス(通称;あけぼの街道)や県道南国インター線の改良整備など、国道・県道の整備を積極的に要請していきます。

(3) 市道の整備

国道・県道との連携や機能分担、集落間の連携強化、特に緊急車両が通れるように、安全性の向上等に配慮しながら、市道の整備を計画的・効率的に進めます。

(4) 安全でうるおいのある道作りの推進

道路整備に当たっては、災害時への対応や弱者・高齢者に対応するバリアフリー化、環境・景観に配慮した、安全でうるおいのある道づくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	都市計画道路高知南国線	○期待する効果や評価等 高知広域都市圏における幹線道路ネットワークと良好な市街地形成を目的に、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、交通拠点のアクセス向上、災害時の避難路、また、歩行者の安全、弱者にやさしい道路空間を形成し、JR 後免駅前まで業務・商業施設の集積を促し、南国市の顔である駅前と整合を図った魅力ある景観形成が望まれる道路として期待されている。	